

島津製作所 (コード 7701)

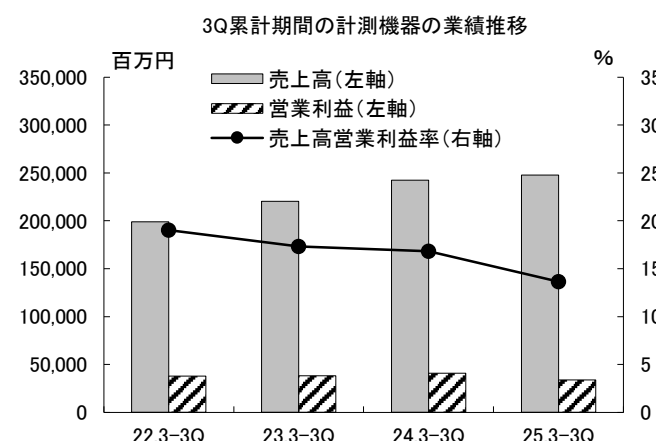
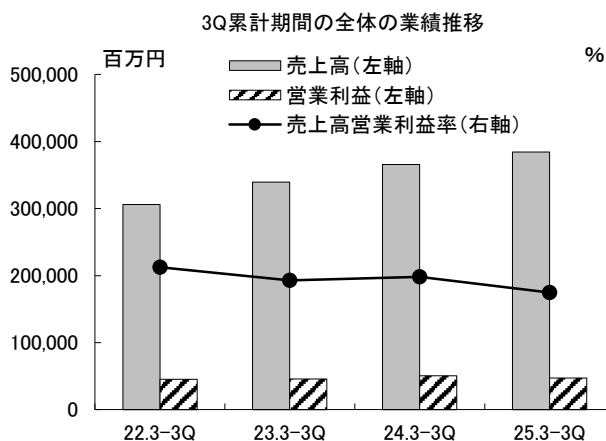
◆各決算期の第3四半期業績推移(連結) (第3四半期のキャッシュ・フローの発表無し)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
23.3	339,472	45,780	121.9	—	—	—	—	—
24.3	365,623	50,747	132.5	—	—	—	—	—
25.3	384,296	47,045	122.9	—	—	—	—	—

◆通期業績推移(連結) (25.3 予は会社側発表値)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
23.3	482,240	68,219	176.6	54.0	48,303	▲34,509	▲19,418	153,734
24.3	511,895	72,753	193.5	60.0	30,127	▲15,998	▲21,098	159,234
25.3予	540,000	73,000	200.0	62.0	—	—	—	—

(CF=キャッシュ・フロー。現金及び現金同等物は各期末値。▲はマイナス。単位は百万円、円)



25年3月期第3四半期の業績概況…25年3月期第3四半期累計期間(24年4~12月)は、産業機器や航空機器などが好調に推移し、売上高は前年同期に比べて約5%増加した。一方、研究開発や人的投資など将来につながる成長投資の継続により、営業利益は約7%減少した。

当期の業績は、売上高 3,842 億 9,600 万円 (前年同期比 5.1%増)、営業利益 470 億 4,500 万円 (同 7.3%減)、経常利益 491 億 5,800 万円 (同 7.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益 361 億 4,300 万円 (同 7.5%減) となった。

主な事業セグメント別の売上高は、計測機器 2,479 億 2,300 万円 (同 2.3%増)、医用機器 502 億 5,800 万円 (同 0.8%減)、産業機器 534 億 3,700 万円 (同 12.9%増)、航空機器 279 億 8,800 万円 (同 36.5%増)。また、営業利益は、計測機器 338 億 2,300 万円 (同 17.0%減)、医用機器 16 億 4,700 万円 (同 30.9%減)、産業機器 78 億 8,600 万円 (同 52.8%増)、航空機器 40 億 6,700 万円 (同 46.1%増) となった。

セグメントの売上高及び営業利益で最も大きい主力事業の計測機器については、液体クロマトグラフ (以下、LC)、質量分析システム (MS) などの「重点機種」の売上高が 1,391 億 9,900 万円 (前年同期比 0.9%増) と堅調に推移したほか、分光光度計や試験機など「その他」の売上高も 1,087 億 2,100 万円 (同 4.1%増) に伸長。ヘルスケア領域では LC が医薬や臨床検査向けに、グリーン領域では MS が PFAS 分析向けに、マテリアル領域では試験機がリチウムイオン電池や水素貯蔵などの新素材開発向けに、それぞれ需要が拡大した。地域別売上では、日本が前年同期比 6.0%増、北米が 15.9%増、欧州が 4.7%増、その他のアジアが 2.5%増となったのに対し、

中国は11.3%減に。利益面では、将来に向けた成長投資負担などにより、減益となった。

売上高、営業利益とも大きく伸びているのが産業機器で、中でもターボ分子ポンプ（TMP）の売上高が262億5,900万円（同14.3%増）に増加。TMPは半導体やディスプレイの製造プロセスに欠かせない超高真空環境を作り出す真空ポンプで、特に、半導体需要の拡大によって半導体製造装置向けが好調に推移している。また、車載用セラミック製造向けなどに伸びている「その他」の売上高も158億100万円（同25.2%増）に増加。同事業の地域別売上では、日本が20.3%増、北米が3.0%増、欧州が0.8%増、中国が2.5%減、その他のアジアが63.2%増となった。

また、航空機器において、分野別売上では、日本政府の防衛力強化方針を受けて防衛向けが219億2,000万円（同54.4%増）に拡大した一方、民間航空機向けについては、海外で民間航空機搭載品などが伸長したものの前年に増加した補用部品の反動によって60億6,600万円（同3.7%減）に減少。地域別売上では日本が53.0%増、北米が2.4%増となった。医用機器は、北米においてはX線TVシステムが、その他のアジアでは一般撮影システムの新製品や血管撮影システムの販売が増加したものの、日本、中国、欧州での市況停滞の影響を受け、減収減益に。地域別売上では日本が3.3%減、北米が3.1%増、欧州が5.1%減、中国が33.3%減、その他のアジアが20.3%増となった。

25年3月期の通期業績見通し…25年3月期の通期業績は、売上高5,400億円（前期比5.5%増）、営業利益730億円（同0.3%増）、経常利益750億円（同2.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益580億円（同1.7%増）となったもようで、24年11月7日付けの会社側発表値から営業利益（修正前760億円）、経常利益（同770億円）が修正されている。

主な事業セグメント別の予想において、売上高は、計測機器3,500億円（前期比3.5%増。修正前3,480億円）、医用機器730億円（同1.0%増。修正前760億円）、産業機器725億円（同10.9%増。修正前720億円）、航空機器385億円（同30.7%増。修正前380億円）。営業利益は、計測機器545億円（同5.2%減。修正前580億円）、医用機器40億円（同16.3%減。修正前55億円）、産業機器100億円（同36.5%増・修正前95億円）、航空機器50億円（同40.3%増。修正前38億円）となっている。

本レポートは、会社側が発表した決算短信や決算説明資料などに基づき作成しており、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。

